

令和4(2022)年度 森里川海生態系ネットワーク形成会合(中部)

生物多様性主流化フォーラムin中部
OECMを通じた企業の生物多様性保全活動

2023年1月25日(水) 13:30~16:30
オンライン開催

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EP0中部)

■プログラム 1/3

1. 開会

13：30～ ご挨拶 (5分)

環境省中部地方環境事務所長 中山 隆治

2. 企業による生物多様性保全

13：35～ OECMと自然共生サイト（仮称）について (20分)

環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐 小林 誠

13：55～ 世界目標と企業の生物多様性保全 (15分)

国連大学サステイナビリティ高等研究所

シニアプログラムコーディネーター 渡辺 綱男 氏

■プログラム 2/3

3. 自然共生サイト(仮称)試行認定の経験共有

14:10～ 森の維持管理と自然共生サイトへの取組 (15分)

ソニーグローバルマニュファクチャリング
&オペレーションズ株式会社

人事総務部門総務・ファシリティ部 谷岡 修 氏

14:25～ 希少生物が生息・生育するシャトー・メルシャンの
梔子くまりこヴィンヤード（長野県上田市） (15分)

麒麟ホールディングス株式会社CSV戦略部 小此木 陽子 氏

14:40～ 柞くははその森（石川県珠洲市）における
茶道用木炭生産を通じた里山の保全 (15分)

株式会社ノトハハソ代表取締役 大野 長一郎 氏

■プログラム 3/3

4. OECMIに向けた多様な主体の連携

14：55～ 自然共生を目指した企業連携 (15分)

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 自然共生分科会事務局、
東邦ガス株式会社CSR環境部部長付 北本 都美 氏

15：10～ 市民・専門家と連携した調査・保全活動 (15分)

なごや生物多様性保全活動協議会会長 長谷川 泰洋 氏

15：25～ 休憩 (10分)

5. 質疑応答と登壇者によるトークセッション

15：35～ トークセッション (55分)

進行：環境省中部地方環境事務所次長 高橋 啓介

16：30 閉会

■ご登壇者の略歴

環境省自然環境局自然環境計画課長補佐 小林 誠

環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐。2009年環境省入省。本省生物多様性地球戦略企画室にて勤務後、瀬戸内海、大山隠岐、足摺宇和海国立公園の現場管理を行う。その後、本省国立公園課にて、やんばる国立公園や奄美群島国立公園の新規指定等を担当。また、内閣官房へ出向し行政事業レビューの業務に従事した他、観光庁やANA総合研究所へ出向し、観光コンテンツづくりに関連する業務も経験。

国連大学サステイナビリティ高等研究所 シニアプログラムコーディネーター 渡辺 綱男 氏

1978年に環境庁入庁、全国の国立公園や野生生物管理にあたる。釧路湿原の自然再生や知床の世界遺産登録、生物多様性条約COP10の開催、三陸復興国立公園づくりなどに携わる。自然環境計画課長、審議官を経て2011年1月より自然環境局長。2012年8月に環境省を退官。現在、国連大学サステイナビリティ高等研究所や自然環境研究センターに勤務。IUCN(国際自然保護連合)日本委員会会長や環境省『OECMの設定・管理の推進に関する検討会』委員、『自然共生サイト認定プロセスに関する審査委員会』委員を務める。著書(共著)に『日本の自然環境政策』(東京大学出版会)、『景観生態学』(共立出版)など。

■ご登壇者の略歴

ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 人事総務部門総務・ファシリティ部 谷岡 修 氏

高等専門学校卒業に伴い、現会社の前身となるソニー稲沢株式会社に入社。ファシリティ担当部署に配属され、熱源供給設備の導入や水処理に従事。自社の地下水汚染の発覚を契機に企業の環境対応に関わり、その後グループ本社への出向において、主に環境マネジメントシステムのグローバル認証取得対応ならびにこれらの運用に伴う規定標準策定、中長期目標設定等に携わり、現在は再び原籍会社の環境関連業務を担当。

キリンホールディングス株式会社CSV戦略部 小此木 陽子 氏

大学院卒業後、環境系コンサルタントに従事し環境アセスメント業務や再生可能エネルギーなどの低炭素社会構築に向けた戦略立案に従事。その後、JICAケニア事務所にて約3年間気候変動担当企画調査員として勤務し、2021年キリンホールディングスCSV戦略部に入社。現在は同社にて生物資源関連の取組みを担当。自然環境学修士。

株式会社ノトハハソ代表取締役 大野 長一郎 氏

石川県珠洲市生まれ。1999年に家業である炭やきを始める。2003年、父の他界をきっかけに旧大野製炭工場の代表に就任。2004年から茶道用木炭の産地化・ブランド化に向けてクヌギの植林を開始。植林イベントを開催するなど植林本数を増やしてきた。金沢大学能登里山マイスター養成プログラムを受講し、炭やきの二酸化炭素排出量削減に関して研究。2012年より、岐阜大学の伊藤浩二助教授とクヌギ植林による植物種の変化について調査・研究を行っている。2013年からクヌギ茶炭製炭窯への火入れ神事「火熾し神事」を開始し、以降は毎年11月に執り行っている。2016年に炭やきを生業とする人を増やすことで集落存続を目指す「炭やきビレッジ構想」を発案。現在、炭やき職人を目指した弟子の育成に努めている。2021年9月に法人化し株式会社ノトハハソの代表に就任。茶道用木炭のほか、BBQなどのレジャー用や火鉢・囲炉裏用木炭の製造・販売を行っている。また、炭やきの魅力を伝えるため、工場や植林地の見学を積極的に受け入れている。

■ご登壇者の略歴

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 自然共生分科会事務局、
東邦ガス株式会社 C S R 環境部部長付 北本都美氏

1993年、東邦ガス入社。業務用営業部門で営業や営業企画、エネルギー政策に関わる業務に従事。2009年より企画部環境エネルギー政策グループマネジャーとして環境エネルギー政策に関わる業務に従事した後、2015年にG&P事業推進グループマネジャーとして小売電気事業の立ち上げに従事。2022年よりCSR環境部、同年4月より環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 自然共生分科会の事務局を担う。

なごや生物多様性保全活動協議会会長 長谷川泰洋氏

現職 名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科准教授

略歴 名古屋大学エコトピア科学研究所特任助教、森林総合研究所非常勤特別研究員、名古屋市環境局なごや生物多様性センター生物多様性専門員などを経て現職。現在、なごや生物多様性保全活動協議会会長、名古屋市動植物実態調査検討会委員、生物多様性なごや戦略実行計画の策定に係る懇談会委員、日本造園学会中部支部会常任運営委員、社叢学会理事、愛知県あいち方式推進指導員、一宮市環境審議会委員 など

お願いとご注意

- ご発言や質問をされる時以外は、zoomの音声をミュートに、カメラはOFFでお願いいたします。
- 今回のフォーラムはYouTubeでのライブ配信と、環境省中部地方環境事務所ウェブサイトでの1週間限定配信を行う予定です。
- zoomの音声またはカメラがONになりますと、zoomの機能上、自動的に、お名前やカメラ画像等がYouTube用動画にも映る可能性があります。
- 不都合のある方は、音声・カメラを常にOFFとしていただき、質問はチャットでお寄せください。また、念のため、表示のお名前も問題のないものへの変更をお薦めいたします。